

第45回秋田市地域公共交通協議会

議 事 要 旨

日 時：令和7年9月26日（金） 14時から15時30分まで

会 場：秋田県生涯学習センター 4階第1研修室

委員定数：23名

出席委員：20名（うち代理出席6名）

会議内容：以下のとおり

- 1 開 会 （略）
- 2 会長あいさつ（略）
- 3 議 事

【協議1】第4次秋田市公共交通政策ビジョン等の骨子案について

事務局	（資料に沿って説明）
-----	------------

委員	市民アンケート調査における「乗換環境」とはどのように定義しているのか。
----	-------------------------------------

事務局	本計画では、乗換を前提とした公共交通網への再編を位置付けているため、交通結節点となる鉄道駅等を乗換拠点として考えている。 アンケートでは、乗換の待ち時間を過ごすうえで求められている機能について調査を行い、「屋内に待合所があり、天気に左右されない環境で過ごせること」や「上屋や椅子の設置されたバス停があること」が望ましいという結果になった。
-----	---

委員	鉄道駅等ではない部分で、乗換拠点として想定している場所があれば教えてほしい。
----	--

事務局	現状では路線網の再編について詳細は決まっておらず、既存の施設の活用や、国の補助メニューによる新規整備等を想定しているが、路線の再編と併せて今後も検討していく。
会長	アンケートで乗換拠点での待ち時間の許容範囲について尋ねるとき、待ち時間を快適にする機能が備わった乗換拠点について、具体的な例を示したのか。
事務局	アンケートは、回答者の方に乗換に必要な機能について回答していただいた上で、その機能が備わっているとき、どれくらいの待ち時間が許容範囲か尋ねる構成とした。
会長	それぞれの回答者が、自分にとって必要な機能があるということをも想定して回答したということか。
事務局	そのとおりである。
委員	第4次計画策定について反対ではないが、乗換拠点などについては今後協議を進めていく段階にあるということを留意していただきたい。
事務局	再編案について、バスに限らず鉄道やタクシーを含めた再編を目指しているため、事業者と協議を重ねたうえで、乗換拠点となり得る場所を示していきたいと考えている。
委員	アンケートの中で高齢者の方から、乗換回数が多くなると乗換が困難になるといった意見はあったのか。
事務局	アンケートからそのような意見はなかったと認識しているが、件

数が多いので見落としているかもしれない。以前から、直通で目的地まで行きたいという意見はあるが、運転手不足の中で路線を維持するためには、直通での運行には限界があると感じている。

委員 「3環状放射型道路網」とあるが、図からはどのように6つの地域を結んでいるのか、どのようなモードで移動できるのかイメージすることができなかった。また、この道路網は既に整備されているものなのか、今後整備するのならいつ完成するのか教えていただきたい。

事務局 資料1のP6に将来交通体系を図示している。この道路網の整備により、市街地を通過する交通を抑制することで、歩行者・自転車の安全性の確保、路線バスの定時性向上につながると考えている。現状では、全てが整備されておらず、着手前のところもあるため、計画に位置づけた事業については、進捗状況を確認していく。

委員 放射道路は1つの中心から放射状に延びるものと認識していたが、ご説明を伺うとそうではないように感じてしまう。

事務局 複数の都市計画道路をつなぎ合わせて環状型や放射型を形成しているため、きれいな環状や放射状にはなっていない。例えば、大仙市方面から来た車は、外周部環状道路である秋田自動車道を通り北部へ抜けることができる。市街地環状道路である横山金足線は、中心部を通らずに市街地を通過できる道路、分散導入路は新国道のように中心部と新屋土崎を結ぶような道路というように認識していただきたい。

会長 既存の道路に環状や放射状という言葉当てはめているため、言葉通りになるわけではないが、それぞれの道路に役割を持たせて整備を進めているとご理解いただきたい。

委員	「基本的な方針と目標の設定」において、現計画からの変更点が示されていたが、どのように変更したのか教えていただきたい。
事務局	第4次計画は現計画の方針を引き継ぐ形で、現在までの社会情勢の変化を踏まえたものにしようと考えている。 変更した点は、基本的に文言の修正と補足になっている。例えば、「多核集約型コンパクトシティ」は現計画では「多核集約型の都市構造」と記載しているが、上位計画との整合を図るため変更した。公共交通の面では、運転士不足等を踏まえ「限られた輸送資源を効率的に活用しながら」と新たに追記している。
委員	わかりやすくはあるが、具体的な施策につなげるにはもう少し踏み込んだ表現が必要だと感じた。
委員	公共交通の目標Ⅱに、「気兼ねなく外出できる」という記載があるが、表現に違和感を感じる。
事務局	市民アンケート調査結果より、運転免許や自家用車を持たない人が一定数いたり、「自分で運転したり、誰かに送迎を頼むのが面倒だから」という回答が見られたりした。その部分を踏まえたほか、国が示すアップデートガイダンスの内容も参考にしている。今回ご指摘いただいた内容については、施策を検討する中で、必要に応じて文言の修正をしていきたい。
会長	この他にも、アンケートの結果を踏まえて表現を変更した部分はあるのか。
事務局	目標Ⅰでは、回遊性の向上を図ることでにぎわいが創出されと見え、「にぎわいの創出」から「回遊性の向上」に変更している。

目標Ⅲでは、拠点間ネットワークの形成により、歩行者・自転車の安全性確保やバスの走行性向上につながると考え、「生活や経済活動の基盤となる」という補足をしている。また、効率的な整備の推進が必要だという考えから、「既存ストックを有効活用しながら」という文言を追加した。

会長 現時点で具体的な内容を示すことは、動きを狭めてしまう可能性がある。今後より具体的な施策の内容が定まってきたときに、目標に合わない部分が出てくれば、その時にご意見をいただければと思う。

委員 目標Ⅲにある「既存ストックを有効活用しながら」とは、具体的に教えていただきたい。

事務局 財政的に限りがある中で、全ての道路を新しく作り替えるのは難しいことから、既存の道路も活用しながらネットワークを構築することを目指している。

会長 今回いただいたご意見等、今後ご検討いただくこととして、協議1を承認してよろしいか。

委員一同 異議なし。

会長 それでは、協議1を承認することとする。

【協議2】 令和7年度秋田市エリア交通の運行について

事務局 (資料に沿って説明)

委員 新規の実証地区について、乗降場所はいつまでに確定する予定な

のか。

事務局 昨年度は、乗降場所となる施設を保有する町内会との調整に時間を要した経緯があった。11月の中旬頃の決定を目指していきたい。

委員 事業概要からは、エリア交通を実施することで、今あるバス路線が廃止になってしまうような印象を受けたが、そういったことはないのか。

事務局 エリア交通は半径2km程度の生活地域内での移動を目的としており、普通タクシーと路線バスの間を取ったような運行形態になっている。便利さに限りがあることから、利用者には外出の目的に応じて公共交通機関を選択していただくことを想定しており、路線バスの廃止にはつながらないと考えている。

委員 事業概要の始めの部分に減便という言葉があったので、そういった捉え方をしてしまった。

事務局 既に路線バスが減便している地区などで、導入しているものになるため、エリア交通を実施することで路線バスが減便になるという意図ではない。

会長 仁井田地区で乗合率が上昇しているとのことだったが、単純に利用者が増えたことが原因なのか。それとも利用者の利用方法が変化したからなのか

事務局 利用者が増えた結果、乗合率も上昇したと捉えている。
また、乗合率は1つの予約で2人以上乗車した場合はカウントしていないため、利用時間が重なって乗合率が向上したと考えている。

会長	1つの予約で2人乗った場合も含めて乗合率を算出することは可能なのか。乗合とは複数人で乗車している場合と認識しているので、現状の乗合率は実態よりもかなり低く算出されてしまっていると考えられる。
事務局	データを確認し、そのような計算ができるかどうか確認する。
会長	他に質問等がないようなので、協議2を承認してよろしいか。
委員一同	異議なし。
会長	それでは、協議2を承認することとする。

【協議3】 秋田市マイタウン・バス南部線雄和Bコースにおける異動円滑化基準適用除外車両の導入について

事務局	(資料に沿って説明)
委員	以前の協議では、バリアフリー法を適用した車両の導入ができない理由は、利用人数が多く、現行車両の大きさでは、車いすへの対応ができないからだと言明を受けた。今回の説明にあった理由とは異なったように思う。
事務局	今回、定員は増えているが、座席レイアウトの変更によるものであり、車両の大きさに変わりはないことから、適用除外認定を申請する理由は、車両の構造上、基準への適合が困難であるという整理である。
委員	雄和Bコースには、毎日何人ほどが乗車しているのか。

事務局	特に利用者数が多い便の平均で、3人から4人である。現在の定員は9人で、平日の朝の時間帯の上り便と、夕方の時間帯の下り便で満員となる場合もある。
会長	車椅子の方が利用されたい場合はどのような対応になるのか。
事務局	円滑な移動を確保するため、事前にご連絡をいただいた上で、マイタウン・バスへの乗車要件をご説明し、必要に応じて車椅子対応車両を配車するなどの対応を考えている。
会長	他に質問等がないようなので、協議3を承認してよろしいか。
委員一同	異議なし。
会長	それでは、協議3を承認することとする。

4 そ の 他 (略)

5 閉 会 (略)